

熱い心、真の勇気で八王子改革！！

決断と実行。

八王子市議会議員

48歳

いとうただゆき

伊藤忠之



ごあいさつ

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。また、4月の統一地方選では皆様から頂いた大事な力を発揮できず、次点、落選という結果を出したことにお詫び申し上げます。

皆さんご承知の通り、その後現職の死亡により、市議会に欠員が生じ7月12日に繰り上げ補充という結果となり再び市議会で発言をさせていただいております。

そこで、今回は第3回定例会の分科会の報告をいたします。令和1年第3回定例議会は、9月3日から10月8日の会期で行いました。議会では平成30年度の決算が市長から提案され、本会議場での会派代表質疑、委員会室では決算等審査特別委員会が開かれ総括質疑、各分科会を経て30年度決算に対し、市議会は議長を除き、賛成33票、反対6票で可決されました。

私は、総務分科会での質問、意見開陳、本会議場での賛成討論と忙しい議会でありました。

裏面にて一部ではありますがまとめておりますのでご確認を頂きたいと思っております。

より現実的に、しっかりと地方政治の中で活動を深めてまいりますので今後も変わらぬご指導をお願いいたします。

国民民主党東京都24区総支部長

皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員
伊藤忠之事務所

〒192-0374

八王子市中山446

Tel:

(042)674-8869

Fax:

(042)674-7558

E-mail:

tadayuki802@gmail.com

Blog:

http://ameblo.jp/tadayuki802/

プロフィール 伊藤忠之(48歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。犬1匹、猫2匹、メダカ7匹
- ・市議会では：
八王子市議会4期
会派 市民クラブ
常任委員会 総務委員会委員
特別委員会 次世代支援・高齢社会対策特別委員会委員
- その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(足は苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

・市役所職員としての「優秀な人材とは」

【問】市は「優秀な人材」を採用したいと言っているが、優秀な人材にはさまざまなタイプがいると考える。市長が掲げる政策をぐいぐいぐいぐい推し進めることができるタイプ、財政のことを考え着実に仕事を進めるタイプ、高学歴タイプ。そして、市民の心に寄り添いそれを何とか形にしようとするタイプ。必要なのは、技術系でも事務系でも市役所だからこそ市民のためにできる何かを求めてくる人だと思っている。学科の試験も大事だが、安定ばかりを求める高学歴の優秀な人ばかりを採用するのではなく、夢のある、そもそも違う個性を持つ「優秀な人」を採用してはどうか。

【答】現在、八王子市の採用試験では、まず申し込み時に面接を行い、そこで人物をよく見きわめしてから学科試験に進むというプロセスを踏んでいる。さらにその後、グループワークと称して受験生同士がグループを組んで、ディスカッションや作業をする様子から、その方の人物をしっかり把握できるような仕組みを取り込んでいる。さらに、3次試験として面接試験を実施しており、決して教養試験だけでその人物を判断するということはない。学歴要件についても撤廃しており、大卒程度という試験の区分はあるが、大学を卒業していないと試験が受けられないということではない。人間性をよく見きわめ、市民のために一生懸命働く職員を採用していきたいと考えている。

・火葬炉の改修だけでは市民サービスとしては完全ではない

【問】八王子市斎場では、火葬件数の増加に対応するため、老朽化した火葬炉を計画的に改修し、稼働率が上がったとの報告があったが、亡くなった方を火葬する件数がふえるということは、親族の方もふえることになり、控室を増やすなど、周辺設備への対応が必要になるはずである。八王子市が構成員となっている南多摩斎場においては火葬炉を新しくしたことで問題がでていると聞いている。市はどのように考えているのか。

【答】南多摩斎場も火葬炉を新しくし、八王子市斎場と同様に、多死社会に向けて、今後、現在ある火葬炉の回転数をさらに上げ、死亡者の増、火葬数の増に対応する検討をすると聞いている。近年、葬儀の形態は非常に多様化している。葬儀や通夜をやらない直葬や家族葬もふえている一方で、今委員ご指摘のとおり、大人数の火葬にも対応しなければいけないという状況があるため、今後、そのような改善についても意見として提案していきたい。

・消防団員のなり手不足の解消のために

【問】消防団員のなり手不足は深刻な課題の一つである。その背景には、新旧の住民とのつながりが薄さ、消防団に入るのは、はたちから40歳ぐらいまでの年齢では、まだ子どもが小さかったり、会社の都合だったり、社会的に自分で生活するのが精いっぱい、昔のように自分の手で地域を守るといふ、すごくいい言葉だがなかなかそれに協力できない状況がある。市もさまざまな取り組みをしているようだが決め手に欠けている。例えば、消防団員が会社にいると、市の入札で加点があるとか、町会に消防団員があることでメリットがあるとか、何か具体的なメリットが受けられるような工夫はできないか。

【答】入札は基本的には競争入札ということで、金額で判断するが、それ以外に、今、委員が示されたような加点の方法がある。技術力の中で総合評価ということでの加点、地域要件として環境配慮に対する加点、あるいは女性活躍ということでの加点もある。消防の関係だと防災協定を市と結んでいる団体についても加点がある。消防団員の件は、外部委員も交えた入札契約制度検討会の中でそういった御発言があったことも踏まえて、市として何か契約の中でできるかを研究していきたい。

毎週月曜日更新。一般質問等の概要のテーマ増やしました。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャル
BLOG更新中!!

伊藤忠之 八王子 で

検索

